



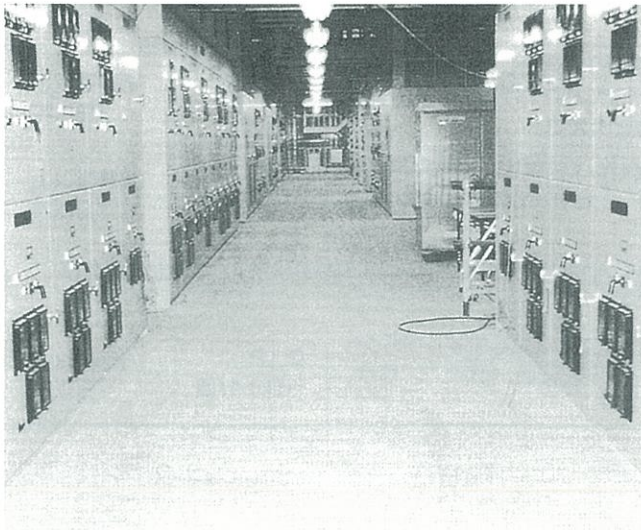
ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

Technical Service Data Sheet

ユカクリート ドーデン #100N

薄膜溶剤2液型帯電防止エポキシ樹脂系塗床材

非鉛・クロム



ユカクリート ドーデン#100Nは、特殊導電材を配合したエポキシ樹脂帯電防止塗床材です。長期に亘って帯電防止性と耐久性を持続しますので、床面に発生・滞留しやすい静電気から電子機器類を守り、安全で快適な作業環境を保全します。



特 長

1. 床面に静電気が滞留しにくいので、放電爆発や電気ショックによるコンピューターの誤作動などを防止します。
2. 空気中のほこりを吸着しにくいので掃除が容易です。
3. カラフルでシームレスな塗床材で、衛生的です。
4. 塗膜物性や耐水性、耐薬品性にすぐれています。
5. ドーデン#100Nは、ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。
日塗工登録番号 D01196
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)

用 途

- クリーンルーム、コンピュータールーム
- 病院の手術室、麻酔室
- 危険物取扱工場(火薬工場、塗装工場、印刷工場、ガス充填場など)
- 電子機器工場、ロボット設置工場
- 紡績工場、織物工場、粉体取扱工場
- 製薬工場

SINCE 1932.

DAIDO CORPORATION®

ユカクリート
ドーデン #100N

薄膜溶剤2液型帯電防止エポキシ樹脂系塗床材

標準塗装仕様

■ペースト工法 平滑仕上げ(ドーデン#100N、厚膜工法 標準厚み 約2.0mm)

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)
1 下地		下地モルタル及びコンクリートは、金ゴテ仕上げで、十分に強度のあるものとします。通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2 下地処理		1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)して目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどは、シンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じて、クラック、穴などを補修します。		
3 下塗	ユカクリート 含浸プライマー	主剤と硬化剤を1:1(質量比)で混合し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.14 ~0.16	4時間以上 7日以内
4 ペースト	ユカクリート タイル#70 6~8号珪砂	主剤と硬化剤を5:1(質量比)で混合し、6~8号珪砂50%(質量)、ユカクリートシンナーXYを0~3%(質量)加え、ヘラ、コテでしごき塗ります。	1.20 0.60	16時間以上 7日以内
5 中塗	ユカクリート タイル#70	主剤と硬化剤を5:1(質量比)で混合し、コテで塗り広げます。ユカクリートシンナーXYで希釈する場合は、0~3%(質量)を厳守します。	1.10	16時間以上 7日以内
6 アース 設置	※1 の 置	市販の銅板(15×7cm)をエポキシ系接着剤で人やリフトが通らない所に貼り付けます。個数は1部屋に2箇所以上とし、50~100m ² ごとに設置します。		
7 上塗 (2回)	ユカクリート ドーデン#100N	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーEPで10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12 ~0.14/回	16時間以上 7日以内

※1 アースの設置については4ページをご参照下さい。

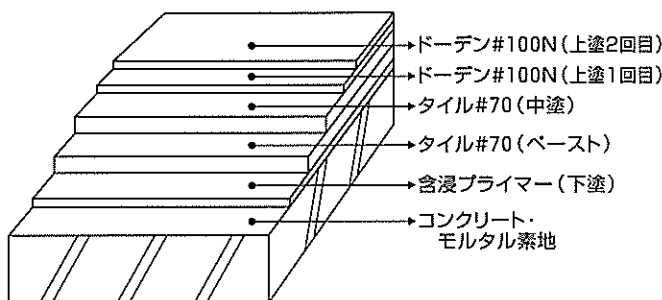
■コーティング工法 平滑仕上げ(ドーデン#100N、薄膜工法 標準厚み 約0.2mm)

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)
1 下地	※2 地	下地モルタル及びコンクリートは、金ゴテ仕上げで、十分強度のあるものとします。通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2 下地処理		1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)して目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどは、シンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じてクラック、穴などを補修します。		
3 下塗	ユカクリート ドーデンプライマー	主剤と硬化剤を3:1(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーEPで0~20%(質量)希釈し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12 ~0.15	5時間以上 7日以内
4 アース 設置	※1 の 置	市販の銅板(15×7cm)をエポキシ系接着剤で人やリフトが通らない所に貼り付けます。個数は1部屋に2箇所以上とし、50~100m ² ごとに設置します。		
5 上塗 (2回)	ユカクリート ドーデン#100N	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーEPで10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12 ~0.14/回	16時間以上 7日以内

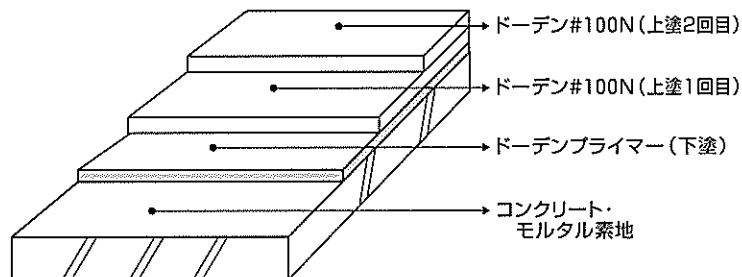
※1 アースの設置については4ページをご参照下さい。

※2 下地にピンホールがある場合は、ペースト工法をお勧めします。

■ ペースト工法 平滑仕上げ（厚膜）



■ コーティング工法 平滑仕上げ



※防滑工法が必要な場合はご相談下さい。

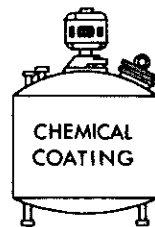
施工上の注意

1. デジタル式水分計は、(株)ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
2. 主剤、硬化剤の混合は、必ず電動ミキサーで行って下さい。
3. 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を秤で正確にはかって使用して下さい。混合比がぶれると導電性が低下すると共に十分な塗膜性能が発揮されません。
4. 使用に当たっては、保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した時は、石けんでよく洗って下さい。アレルギー体質の方は、特にご注意下さい。
5. 5℃以下での施工は硬化が遅れますので、注意して下さい。(硬化が遅れると表面抵抗値も低下しにくくなります。)
6. 相対湿度80%以上の高湿度下で施工しますと結露等の影響で白化、艶引けが生じることがありますので注意して下さい。
7. 標準塗装仕様の塗付量以上にユカクリートドーデン#100Nを塗重ねますと溶剤の揮発が遅れるために電気抵抗が増加して導電しにくくなる場合がありますので注意して下さい。また、薄塗りをすると光沢と共に導電性も低下しますので、標準塗付量を均一に塗装して下さい。
8. 油污れのひどい面には、油面用プライマーを塗装してから、ユカクリートドーデンプライマーを塗装して下さい。又油面用プライマーを使用しますと接地が不十分になるので必ずアースを設置して下さい。
9. 旧塗膜のある塗り替えの場合は、必ずアースを設置して下さい。(旧塗膜が絶縁層となりますので、導電性がなくなります。)
 (イ) エポキシ系の旧塗膜
 標準の素地調整とポリッシャーなどによる表面の目荒しを行い、標準塗装仕様に従って塗装して下さい。
 (ロ) アクリル系の旧塗膜
 旧塗膜を完全に除去し、標準塗装仕様に従って塗装して下さい。
 あるいは、旧塗膜の表面を塗料用シンナーを含ませたウエスで拭き、ユカクリートタイルローラー用を塗装した後、標準塗装仕様に従って塗装して下さい。この場合、アクリル系旧塗膜はしっかり密着していることが肝心です。
10. 不陸がある場合
 ドーデン#100Nのペースト工法(厚膜工法)で施工して下さい。不陸が大きい場合、厚みを調整したい場合はご相談下さい。
11. ペースト工法 中塗りの希釈量と平滑な面について
 タイル#70などで中塗りを塗装する場合、シンナー希釈量は所定の量を必ず守って下さい。中塗りのシンナー希釈量が多いと上塗りの導電性を著しく低下させます。また、タイル#70などで中塗りをする場合は、平滑な面を作るようにして下さい。凹凸が多いと上塗りの導電性を低下させる場合があります。
12. 吸いこみの激しいコンクリート面をコーティング工法で塗装する場合、吸いこみムラを生じる場合がありますので注意して下さい。

標準色

●ユカクリートドーデン#100N

グレー ターフグリーン エメラルドグリーン レッド ダークイエロー



クリーンルーム塗装上の注意

クリーンルームはゴミやほこりなどの付着が少ないきれいな仕上がりを要求されます。ゴミやほこりを巻き込まないように、下記の点に注意して塗装して下さい。

1. 隔離状態での塗装を心がける

岩綿の吹付けやボードの貼り付けなどが塗装場所付近で行なわれていると必ず塵埃が飛散します。また、人が出入りすることでほこりが外部から侵入します。目に見えない微小なほこりでもローラー塗装すると寄り集まりブツとなります。ほとんどの工事が終了してドアや窓などが設置され、隔離状態を保つことができるようになってから塗装して下さい。開口部がある場合は必ずシートなどで埃が侵入しないように閉じて下さい。また、出入口などでは前室を設けて下さい。溶剤型の塗料を塗装する場合は、有機溶剤による急性中毒に十分注意し適切な処置をしてから作業して下さい。

2. 上塗り前のポリッシャーは使用禁止

ドーデン#100N上塗2回目を塗装する前にポリッシャーでの研磨は絶対に行なわないで下さい。掃除機やほうきでの清掃、さらにはシンナー拭きを行なっても研磨で出た粉塵は取り除くことが出来ません。下地処理の段階で十分な清掃を行ない、以後は粉塵が出ないようにして下さい。突起を取り除く場合は、カッターナイフや地ペラで頭を飛ばすようにして下さい。

3. ローラーの抜け毛に注意

ローラーの毛は細長いので塗膜に付着するとよく目立ちます。毛の抜けが少ないローラー（好川産業 スーパードリーム、大塚刷毛 ネオローラーなど）を使用するか、1～2度使用し、きれいに洗ったローラーを使用して下さい。（塗付量の目安：ローラーで塗装する場合、ジブジブと音がしない。音がする場合は、塗付量が少ない。）

4. 薄塗り厳禁

塗膜が薄くなるほどゴミが目立ちます。微小なゴミは塗膜の中に隠れますが、薄いとほとんど表面に現れます。塗膜が薄いと導電性も著しく低下しますので、塗付量を必ず守って塗装して下さい。薄く塗装するとローラーの毛も抜けやすくなり、ゆず肌仕上がってしまいます。

5. 塗装方法

ローラーは横、縦に通して、塗り継ぎ部分に溜まりや塗りムラを作らないように丁寧に塗装して下さい。溜まりができるとローラーパターンが浮き出やすくなってしまいます。また、厚い部分、薄い部分ができると、表面抵抗値に大きなバラツキが生じるので均一に塗装して下さい。

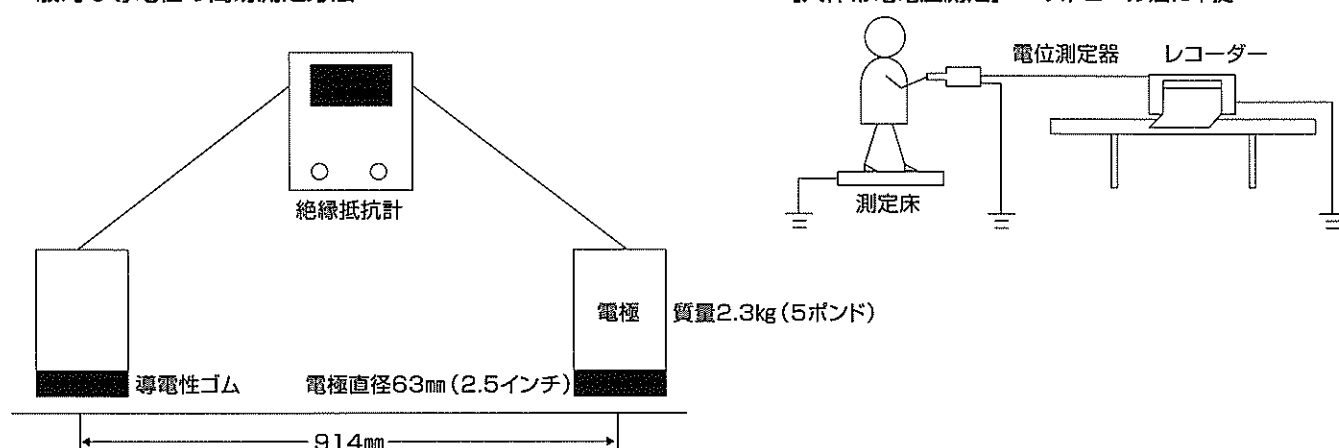
導電性の測定

塗装完了後、導電性を調べるために表面抵抗値を測定します。塗装後7日以上（23℃）養生し、汚染も少なく、硬化も進行している期間に測定して下さい。測定方法は表面抵抗値を1部屋で2箇所以上測定します。

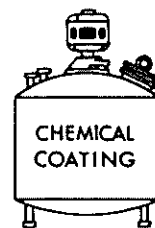
※測定環境の違い（室温・換気・平滑性）により初期の表面抵抗値に差が生じる場合があります。

（特に養生期間中の室温が低い場合や換気が十分でない場合は、7日を越えても所定の表面抵抗値まで低下しないことがあります。）

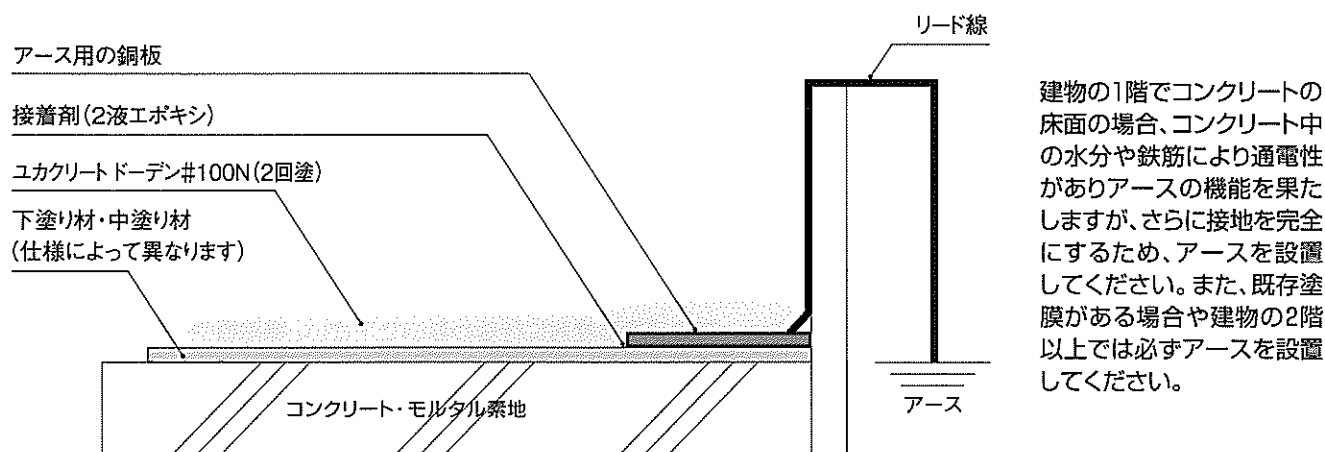
一般的な導電性の簡易測定方法



※測定の際は、導電性ゴムをウェットティッシュ等でしっかり拭いて濡らしてから測定して下さい。



アースの設置方法



【アースの設置方法】

塗装面に銅板 (15×7cm程度) を貼り付け、リード線で鉄骨やコンセントのアース端子に接続します。機械設備のアースを利用する方法もあります。鉄骨やアース端子などが無い場合は電気工事業者にアース工事を依頼してください。リード線は市販のアース線を利用してください。

設置場所：歩行や台車の走行に支障がないような壁際や柱周りに設置してください。

設置個数：原則として、一部屋に2箇所以上とし、塗装範囲のどこからでもアースとの距離が10m以内となるように50～100㎡ごとに設置してください。

設置方法：下塗り材または中塗り材が硬化後、ドーデン#100N 1回目を塗装する前に銅板を貼り付けてください。

- ① 銅板に無溶剤型エポキシ樹脂系接着剤を塗付し、床面に貼り付けてください。
- ② ドーデン#100Nの溶剤が銅板の裏面に浸入しないように、銅板の4辺に接着剤を塗付し、床面との隙間を塞いでください。
- ③ 接着剤が硬化後、ドーデン#100Nを塗装してください。

リード線は銅板や鉄骨などにつなぐ場合は溶接してください。リード線を溶接する順序は現場の状況やアース工事の有無などを考慮して決めてください。例えば、鉄骨がボードなどで覆われる場合はあらかじめリード線を鉄骨等に溶接しておき、銅板を貼り付けてから銅板とリード線を溶接してください。また、塗装後にアース工事が行なわれる場合は銅板にリード線を溶接した後に貼り付けてください。

- 注意事項：① 鉄骨は錆止め塗料が塗装されています。鉄骨をアースに利用する場合はリード線を溶接する部分の塗膜を除去してください。また、鉄骨は土中までつながっていることを確認してください。
- ② 銅板を貼り付けた場所は若干盛り上がる仕上りになります。

可使時間と硬化時間

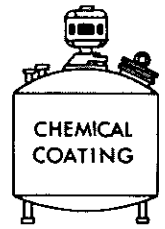
品名	材質	配合比 (質量)		容量		可使時間 (20℃)	硬化時間 (20℃)	ホルムアルデヒド放散等級 日塗工登録番号	
		主剤	硬化剤	主剤	硬化剤				
ユカクリート ドーデンプライマー	溶剤型 エポキシ	主剤	3	16kgセット	主剤	12kg	80分	4時間	F☆☆☆☆ D 01008
		硬化剤	1		硬化剤	4kg			
ユカクリート 含浸プライマー	溶剤型 エポキシ	主剤	1	16kgセット	主剤	8kg	10時間	4時間	F☆☆☆☆ D 01158
		硬化剤	1		硬化剤	8kg			
ユカクリート タイル#70 春秋型	厚膜型 エポキシ	主剤	5	15kgセット	主剤	12.5kg	28分	20時間	F☆☆☆☆ D 01153
		硬化剤	1		硬化剤	2.5kg			
ユカクリート ドーデン#100N	溶剤型 エポキシ	主剤	4	16kgセット	主剤	12.8kg	4時間	16時間	F☆☆☆☆ D 01196
		硬化剤	1		硬化剤	3.2kg			

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

ユカクリート ドーデン #100N

薄膜溶剤2液型帯電防止エポキシ樹脂系塗床材



性能

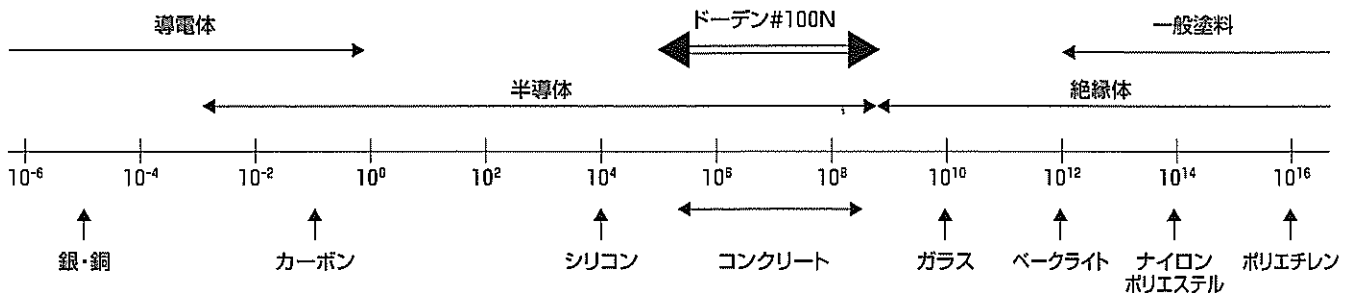
■ユカクリートドーデン#100N

試験項目	結果	備考
鉛筆引っかき値	3H	JIS K 5600-5-4
鏡面光沢度	70	JIS K 5600-4-7
耐屈曲性	2mmφ 180° 合格	JIS K 5600-5-1
耐おもり落下性	1/2インチ 500g 40cm 合格	JIS K 5600-5-3-6 デュボン式
耐カッピング性	7mm以上	JIS K 5600-5-2
付着性	分類0~1 (鋼板基板目テープ法1mm)	JIS K 5600-5-6
耐摩耗性	3.1mg	JIS K 5970 CS-17 4.9N 100回転
	119mg	日本塗床工業会 CS-17 9.8N 1000回転
表面抵抗値※	$1.0 \times 10^5 \sim 1.0 \times 10^9 (\Omega)$	20°C RH 65% 印荷電圧 500V
耐温水性	異常なし	40°C 12日後
耐低温性	//	-20°C 12日後
耐塩水噴霧	//	300時間後
耐水性	//	20°C 12日後
耐酸性	//	20°C 5%硫酸 12日後
耐アルカリ性	//	20°C 5%かせいソーダ 12日後
耐屋外暴露	//	6か月後

※ 表面抵抗値は、実測値であり保証値ではありません。施工環境や条件または床面の状態により表面抵抗値に高低を生じる場合があります。

人体帯電電圧	20V以下	ストロール法
帯電電位	7.5V	JIS A 1455 床研式帯電試験機
半減時間	0.02秒	
帯電防止性能評価	U値:5.9(グレードI)	
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

■各物質の体積固有抵抗 ($\Omega \cdot \text{cm}$)



その他の注意

1. 施工に当たり現場固有の事象ある場合や塗料の性質、性能、使用方法等についてご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。



本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
ホームページアドレス <http://www.daido-toryo.co.jp>

製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1024
'17.2.22版 3,000N